

令和4年度機能評価結果

地域がん診療連携拠点病院 諏訪赤十字病院

<良好な事項>

- 化学療法の実施体制について
治療内容のフィードバックについて、外部評価者を含めるなど適切になされている。
- 緩和ケアの実施体制について
 - ・ 各診療科の外来看護師が、外来患者（通院患者）の状況を細かく聞いて、適切に緩和ケアにつなげている。
 - ・ 緩和ケアのWEB会議（カンファレンス）といったソフトの面や、通院治療センターの隣で口腔ケアや栄養指導が行えるなどのハード面で様々な工夫がされている。
- PDCA サイクルについて
PDCA サイクルの運用にあたり、各科から病院独自の評価指標を挙げるなど、病院全体で取り組んでいる。
- 人材育成について
放射線診療部に代表されるような、人材育成を計画的に進めている組織の姿勢が素晴らしい。
- 全般について
拠点病院の要件を満たすことのみを目的とするのではなく、本来必要な、根本的な目的を共有していこうとしていることを評価したい。

<指定要件に係る事項>

- 相談支援について
がん相談支援センター等でのオンライン相談に取り組んでいただきたい。

<指定要件を超えて検討を依頼する事項>

- 緩和ケア外来について
緩和ケア外来が現在週1回ということだが、さらに充実させてはいかがか。
- がん患者指導管理料について
がん患者へのカウンセリングに際し、「がん患者指導管理料ロ」に該当すると思われるものを算定していないケースがあるようだが算定について検討してはいかがか。
また、がん患者指導管理料の算定が診療科によって差があるため、院内での意識醸成をしてはいかがか。
- 両立支援の取組について
両立支援に資すると思われる取組について院内で様々行われているが、両立支援の取組であるという意識の統一を図り、対外的にアピールしていくと良いのではないか。
- 院内でのがん診療に関する周知について
 - ・ がん患者が外来初診時から治療開始前までを目途に、一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制を求められており、このことを院内全ての職員へ周知を図っていただきたい。
 - ・ 自施設の全ての診療従事者に対し、がん対策の目的や意義、自施設で提供している診療・患者支援の体制についてより一層の周知をしてはいかがか。